

教えて！ 市立病院

〈第 86 回〉

脳卒中は早めの受診を！

■問合せ／市立病院総務課企画財務担当 ☎ 22-2450



〈今月のドクター〉

脳神経外科
川瀬 誠 医師

脳卒中は、以前は日本人の亡くなる原因のトップであり、現在はがん、心臓病に抜かれたものの、寝たきりになる原因の一番に挙げられています。脳卒中には、主に脳の血管が破れて出血する「脳出血」と、脳の血管が詰まって血が通わなくなる「脳梗塞」の2つがあります。

脳卒中の症状は、脳のどこが害されるかで様々ですが、典型的なものは片側の手足の麻痺です。足のみの麻痺は脳卒中以外の原因でも起こりますが、片側の顔面と手の麻痺があれば、ほぼ脳卒中です。

脳出血は、ある程度の出血であれば、手術で症状が軽快することや、早期のリハビリにつなげることが可能です。しかし、出血が大きくなって脳の障害が進むと、命に関わる事態になり、手術の効果が得られないことがあります。最近では内視鏡を用いた手術が主流で、開頭するより傷が小さく体への負担の少ない手術ができるようになりました。

脳梗塞は、発症後4時間半以内であれば、血管に詰まった血栓を溶かす薬が使える、6時間以内であれば、カテーテルで血栓を除去することが可能な場合があります。以前は、脳梗塞はリハビリだけが治療の方法でしたが、最近になり、治療法の選択肢が増えていきます。

いずれの場合も、時間との勝負です。急に呂律が回らなくなったり、片側の顔と手が動きにくくなったりした場合は、すぐに救急車で医療機関を受診しましょう。救急車であれば、その日の血栓溶解療法が可能な施設に搬送してくれます。「Time Is Brain（時は脳なり）」が合言葉です。

目指せ！ 健康長寿 日本一

★★★



今回は笹生一嘉先生にお話を伺いました。

笹生歯科医院
笹生 一嘉 先生

全身の健康はお口から！

「歯磨き」がむし歯や歯周病予防に有効なことは皆さん知っていますよね。では、お口の健康が全身の健康と密接に関係があるのをご存じでしょうか？歯周病に侵されると細菌が歯肉から血管内に侵入

〈第 28 回〉 目指せ健“口”長寿！

なぜ、歯磨きをするのでしょうか？ 歯磨きの大切さを考えてみましょう。

■問合せ／健康課健康企画担当 ☎ 24-8181

し全身に巡り、狭心症や心筋梗塞、動脈硬化、糖尿病、骨粗しょう症、早産・低体重児出産、誤嚥性肺炎、認知症、脳梗塞などの疾患と関係していることが明らかになってきました。また、歯周病菌がインフルエンザウイルスの酵素の働きを活発にするため、お口の中の衛生状態が悪い人は、インフルエンザにかかりやすいというデータもあります。

新型コロナウイルス感染症の原因であるウイルスもインフルエンザウイルスと似ているため、感染症予防として歯磨きをしっかり行いましょう。

磨けたつもりになっていませんか？

歯磨きは、「どれだけ質の良い歯磨きをしているか」が大切です。上手に磨けているかどうか、かかりつけ歯科医院で定期的に確認してもらいましょう。お口の中のクリーニングをしっかりと受けることで、むし歯が見つかってから初期であれば経過観察や軽度の治療で済みます。

症状があっても我慢し、歯科受診を控える人もいますが、全身の健康に悪影響を及ぼすことがあります。市内歯科医院は、感染予防対策を徹底しておりますので、安心して受診してください。